

説教余滴 2020年11月22日、29日、

11月21日から23日は、土曜日から月曜日の三連休でした。すっかり忘れていました。

神学校のころから社会的なカレンダーから無縁になっていることに気づきました。教会は日曜日を重んじます。主日礼拝を休まないように、これだけで浮世離れした人間が現れます。もちろん、個人差はあるでしょう。私のような近視眼的で単細胞的な人間は、容易にその流れに入り込んでしまうようです。

11月第四木曜日は、アメリカの収穫感謝祭。日本にも勤労感謝日として取り入れられました。米国の祭りは、メイフラワー号で移住したピルグリムファーザーたちが、最初の収穫を喜び祝ったことの記念です。今でも祝われているようですが、その裏で、クリストファー・コロン以来の侵略者・白人の考えだけの祝祭には、先住民・有色人種は賛成できない、という反対意見が強く表明されています。もう一つおまけです。新大陸の生活と基本的には無関係のはずのフランスが、この日を、ボージョレ・ヌーヴォの日とするのは何故でしょうか。その年の葡萄酒の新酒を祝う時だから、ドイツだって同じ時に新酒祝いをするじゃないか。結構、それを否定し拒絶しようと呼びかけるつもりはありません。秋は一年の収穫期、どの国でも感謝し、祝うのが当然です。

新しい収穫物を喜び、クリスマスの準備が始められるのが29日、感謝祭の次の主日です。です。刈り入れられた畑の産物、木々の実り、丸々肥えた家畜や動物、鳥や魚類。多くの収穫があつて、クリスマスの恵みもひとしお感じられることでしょう。教会歴と社会のカレンダーが良く調和しています。アドベントの四回の主日は、主イエスの御降誕を準備してお待ちする大事な機関です。九主日は長すぎます。過ぎたるはなお足らざるがごとし。